



植物 クズの花
9月 生態園全域

あき ななくさの七草のひとつで、生態園の林縁部や斜面などにツルを伸ばして茂ります。根を乾燥させたものは漢方薬として利用され、煎じた物は「葛根湯」と呼ばれます。

キノコたち

秋の雑木林はキノコの王国。写真のチャツムタケの他にもさまざまな大きさ、色、形をしたキノコがあちこちで見つかります。「食べられるの?」「毒キノコじゃないの?」...気になる人は、「ガイドウォーク」や「秋のきのこの鑑定団」に参加してみてくださいね!



植物 キセルアザミ
9月中旬～10月上旬
北の谷 東の谷 湿地の谷

しっちは、花は茎の先端に1個咲きます。花の咲いた様子が、火をつけた「キセル(煙管)」のように見えるのでこの名前がつけました。



動物 ミヤマアカネ
8月～11月/南の台地及び逆様池周辺

日本で一番きれいな翅模様を持つアカトンボの仲間です。暑い夏の間は池周辺の林縁ですごしています。未成熟期は雄雌とも麦わら色の体色ですが成熟するとみはぜんたいに赤味がかり、♀は橙褐色を帯びてきます。園内各所で見られます。



動物 ハイロチョッキリ
9月/生態園全域

わか 若いどんぐりの内部に卵を産みつけ、その枝を噛み切って落とします。コナラとアベマキの木の下に葉っぱとどんぐりが付いた小枝が落ちていたら、この虫のしわざです。

自然生態園 さぬきの森 秋



お客様へお願い

・動植物は、管理されているため採取は禁止となっております。
・自然環境を保つため、かぶれやすい木やマムシ、スズメバチなど危険な動植物も生育・生息しています。ご注意ください。
・生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
・ウォーキングに適した靴を履いてご来園ください。
・さぬきの森へは、開園1時間前までにお入りください。
・お車、自転車でのご入園はできません。



常盤木の丘 さぬきの森

アカマツ林の再生を行っているエリアです。花ふぶきの丘に向かって散策して行くと讃岐山脈や周辺の山々の眺望が楽しめます。

植物 ヤマノイモ
9月～10月 さぬきの森

山野にふつうに生えるツル植物です。7～8月に白色の花が咲き、秋に楕円形の翼がついた扁平な種子ができます。また、葉のつけ根に、球根と同じ性質をもつ「ムカゴ」ができ、地面に落ちると発芽します。ヤマノイモの根やムカゴは食べられます。

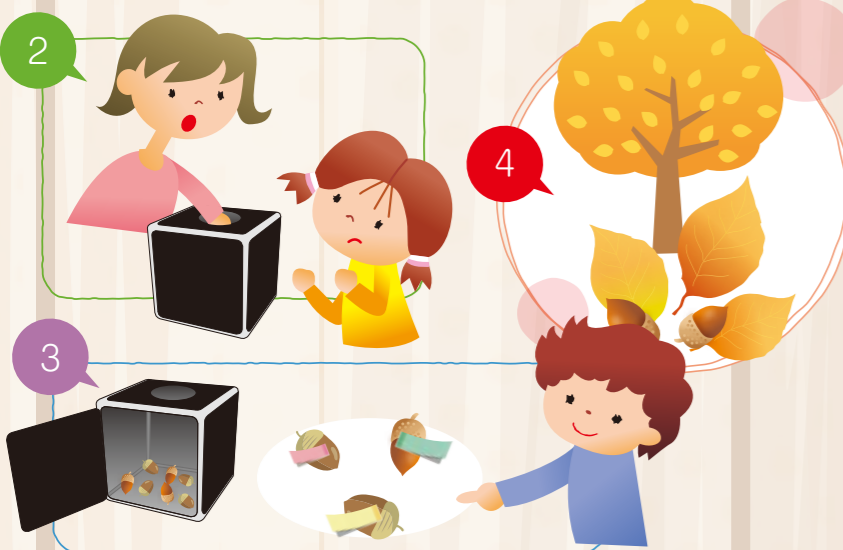
植物 ヤマジノホトトギス
9月～10月 さぬきの森

花びらに細かな紫の点があり、この紫の点を鳥のホトトギスの胸の模様に見立てて「ホトトギス」の名前がついています。ヤマジノは「山路の」と書きますが、あまり深い意味はないそうです。

植物 ヤブラン
9月～10月 さぬきの森

林内で小さな紫色の花を咲かせます。花が終わると黒い実をつけます。奈良・平安時代の頃から歌にも詠まれた植物で、万葉集に出てくる山菅は、ヤブランのことを指すとも言われています。

アクティビティ 木にふれてみよう



イラストイメージは次の通り。

- ① はじめに「木とは?」を問いかけ、参加者の意見を引きます。木の長手を写真やイラストを使って説明。
- ② ブラックBOXを見せ、「ある木」にかかわりのあるものが入っていることを告げる。今から1人ずつBOXに手を入れて何か1つをさわる。その感触をオノマトベ(擬態語)であわし、ポストイットに書き留める。ただし、BOXの外に出してはダメ。ひよっとするとかまれるかも?
- ③ 全員がさわったらBOXをあけ、種明かし。1つ1つ取り出し、解説しながら床に置いていく。さて、今度は、五感を使って、さっきさわったものがどれか探して、そうだとしたら自分のポストイットをそこに貼るように促す。
- ④ みんな体験してどうだった? ある木とは、ドングリの木だったね。でも、ふれた感触は、人によってさまざま。それが個性です。五感を使うと見えなかったものが見えてくる。不思議ですね。ドングリの木は、海ともつながっていることなどを解説。どんぐりに限らず、森の木は、さまざまな形や特徴をもっているし、さまざまな生き物ともつながっている。私たち木がなくて暮らしていけない。木は地球にとってなくてはならない大切な生き物です。むやみに折ったり、傷つけないようにしましょうねと終わる。

トピックス 自然生態園のつるべ井戸

自然生態園のつるべ井戸は、直径が約70cm、深さ(石積みの上部分から水面まで)が約4m85cmあります。(水位は季節によって変動します)

ここでは、ロープの両先端についたバケツ(つるべ)と滑車を使い、昔ながらの方法で井戸水をくみ上げる体験ができます。水温は、年間を通じてほぼ一定の18℃前後であるため、夏は冷たく、冬は温かく感じられます。

「つるべ井戸」の名前は、昔、縄の先につけた水を汲む入れもの(桶)を「つるべ」と呼んでいたことに由来します。

【使い方】
上にあがっている空のバケツを下にさげると、滑車を伝って、反対側のバケツに水が入って上がってくる仕組みで水が汲みあげられます。一度、井戸からくみ上げた水は、地下水を汚さないように、井戸の中に水を戻さず、井戸の外にあるタライに入れてください。

自然生態園で昔懐かしい「水のくみ上げ体験」を満喫してみてください。